

人権課題

性的マイノリティ

男女のらしさ

井原市立木之子中学校 第1学年



- 1 教科等 学級活動
内容(2) イ 男女相互の理解と協力

2 題材設定の理由

「男女のらしさ」について、性の多様性への理解が進みつつある中で、性別を問わず男女とも対等で平等な社会を作っていくことがめざされ、男が外（仕事）、女が中（家事、育児）といった固定的な役割に関する意識も次第に変化している。そのような中で、固定的な役割分担意識に疑問を持ち、性別にとらわれずに自分らしく生きていきたいと思う生徒もいると思われる。

そこで、本題材を通じて生徒が、男女相互の身体面、精神面の違いを認めるとともに、共に協力し、尊重し合うことで充実した生活を送ることができることを理解させたい。そして、「自分らしく」生きることの大切さを知り、よりよく生きていこうとするために、それぞれが、多様な個性を持った存在であることを認め、自他を尊重しようとする意欲や態度を養いたい。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
互いの違いを認め、多様な他者と人間関係を築く大切さなどについて理解している。	自分と違う考えでも、それを尊重し、認め、話合いで問題の解決方法を見いだしている。	学校生活や相互の関係をより良いものにするために、多様な他者と協力し尊重し合う環境をつくり、共に成長しようとしている。

4 事前の指導

	学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
9月	道徳 「部活の帰り」 (友情、信頼)	互いの考えの違いを認め合うことで、互いに相手の人格を尊重しながら接することができるようにする。	相手の心や思いを受けとめ、互いの存在を尊重し合う関係を築く方法を考えている。 【思考・判断・表現】 (発言・ワークシート)
11月	道徳 「私らしさって？」 (自主、自律、自由と責任)	周囲の考えに惑わされずに、自主性を大切にすることで、自分で決定し考え行動できるようにする。	成長していくために、自主的に考え、判断し、行動しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (発言・ワークシート)

5 本時（本実践）と人権教育

「男女のらしさ」について考え、自他を尊重しようとする意欲や態度を育てる。

＜価値的・態度的側面＞

自他の価値観やその多様性を認め、共感的に受容することができる。

＜技能的側面＞

6 本時の目標

「男女のらしさ」について考えたり、互いの考えを交流したりすることを通し、自他を尊重することの大切さを理解することができる。

7 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	教師の指導・支援	評価規準 及び評価方法
〈導入〉 1 普段の自分について振り返り、本時のめあてをつかむ。	○トイレの男女を区別する標識を示し、男女の違いが色で区別されている理由を考えさせる。 ○自分自身の経験を振り返らせる（「男だから泣くな」「女だから料理」）ことで、より自分事として考えさせ、本時のめあてをつかむことができるようにする。	
「●●らしさ」について考えよう。		
〈展開〉 2 「男女のらしさ」について考え、班で話し合う。	○ワークシートの語句から、自分が思う「男女のらしさ」について選ぶことで、それをもとに班での話し合いができるようにする。 ○班のメンバーと考えが違うときは、互いを否定せずにその理由を話し合わせることで、自他の価値観を認め合える雰囲気を作るようにする。	・積極的に話し合いに参加しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (発言)
3 用紙に班の意見をまとめ、全体で発表する。	○班で選んだ語句を用紙に記入し、黒板に貼ることで班の意見が全体に共有できるようにする。 ○黒板に貼る際は、男女別に分けて掲示することで、視覚的に分かりやすいようにする。	
4 「男女のらしさ」について考え、全体で発表する。	○掲示された「男らしさ」「女らしさ」の表示を入れ替えることで、生徒たちが持つ「らしさ」は自分自身で固定化したものであることに気づくことができるようにする。 ★入れ替えた「らしさ」をもとに班で話し合い、他者の意見を聴き、自分の考えと比較することで、様々な考え方があることに気付くことができるようにする。 ○それぞれの班で話し合った入れ替えたときの意見を全体で発表させる際、なぜそう思ったのか理由を考えさせることで、自分らしさについての考えを深めることができるようにする。 ★日常の「男女のらしさ」について考えることに	・多様性を認めて、それを尊重することができる。 【思考・判断・表現】 (発言・ワークシート)

	よって、男女による固定化された価値観にとらわれず、自分らしく生きることの価値に気付くことができるようにする。	
性別で区別するのではなく、「自分らしく」生きていくために、お互いを思いやって行動することが大切である。		
〈終末〉 5 本時の学習を振り返る。 6 教師の話を聞く。	○「自分らしさ」を考えることを通じて、生徒が学んだこと、感じたこと、今後できそうな（取り組みたい）ことなどを Classroom の Forms に入力させる。 ○テキストマイニングで、学級全体の意見を示すことで、多様性を尊重する雰囲気を醸成する。 ○生徒の意見をまとめ、自分らしく生きることに関与することができるよう助言する。	・自分らしく生きていくために今後実現できそうな取組をワークシートに記入することができる。 【思考・判断・表現】 (記述)

学級活動《「らしさ」について考えよう！》
() 組 () 番 氏名 ()

【語句】

誠実だ ユーモアがある 優しい 公平だ 勇敢だ 髪が長い
きれいい好き 暖かい 静かだ 思いやりがある 真面目だ
明るい 積極的だ バワフルだ 謙虚だ 活弁だ 社交的だ
注意深い 正直だ 愛想が良い 頼りになる 強い 美しい
自己主張ができる 子供が好き 成績が良い 決断力がある
意思が強い スポーツが上手だ 料理が上手だ 文字がキレイだ
夢を持っている 笑顔が良い 掃除ができる 縫い物ができる
ピアノが弾ける 東西南北の方向がすぐわかる 運転が得意 目が二重
まつげが長い 親切だ 顔が良い

- 1 あなたが選ぶ「女らしさ・男らしさ」ベスト3を上【語句】から選んで書こう

個人	「女らしさ」	「男らしさ」
1		
2		
3		

- 2 班で話し合っ**て**ベスト3を決定しよう

班	「女らしさ」	「男らしさ」
1		
2		
3		

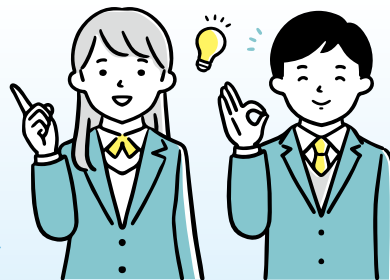
- 3 考えよう！ ※自分が考えた理由も書こう

【 】



上手な伝え方

井原市立木之子中学校 第2学年



1 教科等 学級活動

内容(2)ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

2 題材設定の理由

よりよい学校生活を送るためには、互いに配慮をしながら自分の考えを適切に伝えることができるよう、場に応じたコミュニケーションスキルを身に付けることが肝要である。

そこで本題材を通じて、身近な場面を設定し、自分と相手を大切にする伝え方である「アサーティブな自己表現」についてロールプレイングを行うことで、互いが主張する中でも思いやりの心を大切にしたコミュニケーションのよさに気付かせたい。そして、「アサーティブな自己表現」で話すと安心して話ができるという気持ちを全員で共有することで、自他のよさを尊重したよりよい集団として活動できる意欲と態度を育てたい。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の考えを相手に伝えることができるなど、コミュニケーションの特性や課題について理解している。	自分と違う考えでも、それを尊重し、認め、問題などの解決方法を話し合い、実践している。	学校生活や人間関係をよりよいものにするために意思の伝え方を考え、他者と協議して良好な人間関係を築こうとしている。

4 事前の指導

	学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
4月	「すごろくトークン」	否定的な言葉を使わないというルールを確認し、互いの意見を肯定的に受け止めることで、進んで自己表現ができるようにする。	進んで自分のことを表現し、仲間のことを知ろうと実践している。 【思考・判断・表現】(発言)
5月	「You are great!」	互いの「よいところ」について肯定的なメッセージを受け取り合うことで、他者だけでなく自分のよさも知ることができるようにする。	他者のよさを表現するとともに自分のよさを知ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(発言・ワークシート)

5 本時(本実践)と人権教育

適切なコミュニケーションについて考え、自他のよさを尊重しようとする意欲や態度を育てる。
＜価値的・態度的側面＞

よりよい集団として活動できるための適切なコミュニケーションを実践することができる。
＜技能的側面＞

6 本時の目標

自分や相手の意見の適切な伝え方を考えることを通し、互いを思いやった態度やコミュニケーション力を身につけることができる。

7 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと …… ★

学習活動	教師の指導・支援	評価規準 及び評価方法
〈導入〉 1 普段の自分について振り返り、本時のめあてをつかむ。	○違う小学校出身の友達との会話や、席替え後のコミュニケーションなど、身近な生活について振り返ることで、学級の中で自分の意見を言うことができるか考えることができるようにする。 ○事前アンケートの結果を確認することで、自分たちのコミュニケーションの取り方に課題があることに気付かせ、本時のめあてをつかむことができるようにする。	
	自分の意見を上手に伝える方法を考えよう。	
〈展開〉 2 場面①「自分の消しゴムを勝手に使われたこと」に対し、自分の意見の伝え方を考える。	○スライドで場面①の状況を提示し、実際にロールプレイをさせることで、自分の意見の伝え方を考えることができるようにする。 ○ロールプレイ後、3種類の伝え方を示し、自分がどれに近いかを確認することができるようにする。 A. とげとげ（攻撃的） 「やめろや！」 B. もじもじ（非主張的） 「・・・」 「いいよ（本当は嫌だけど）」 C. ふんわり（主張的） 「使ってもいいけど、次からは一言声を掛けてから使ってね」	
3 場面②「文化祭の準備中、途中で帰らなければならない状況」について、3種類の伝え方の違いについて考える。 (個人→班)	○スライドで場面②の状況を提示し、A、B、Cそれぞれの立場での伝え方をワークシートに記入させることで、それぞれの伝え方の違いについて考えることができるようにする。 ○班で話し合っ、3種類の伝え方をそれぞれ意見共有シート（色画用紙）にまとめ、発表練習をさせることで、自信をもって全体発表ができるようにする。 ○各班で3人の代表者を決め、A、B、Cそれぞれ	・積極的に話合いに参加しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (発言) ・積極的に自分の

4 3種類の伝え方について発表する。 〈終末〉 5 本時の学習を振り返る。	れについて発表させる。 ★黒板に掲示した意見共有シートをもとに、3種類の伝え方について互いに発表し合い、どの伝え方が、自分だけでなく相手も大切にする適切なコミュニケーションかを考えさせることで、自分の意見を上手に伝える方法を考えることができるようにする。 ○他の班の発表を聞いて、よいと思った伝え方とその理由をワークシートにまとめることで、互いを思いやったふんわりとした（主張的な）伝え方がよりよい伝え方であることに気付かせるようにする。	役割を果たそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 （発言・行動の観察）
6 教師の説話を聞く。	相手も自分も意見を主張し、お互いを思いやったコミュニケーションの取り方を心がけよう。 ○本時の学習についての感想をまとめさせることで、今後のコミュニケーションの取り方に生かそうとする意欲を高めることができるようにする。 ○生徒の意見をまとめ、よりよい学級作りに役立てよう助言をする。	・よりよい伝え方をワークシートに記入することができる。 【思考・判断・表現】 （記述）

アサーティブの方法を実践しよう
～自分の意見を上手に伝える方法を考えよう～
2年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

＜場面①＞
となりの席のXXくん（さん）が、黙ってあなたの消しゴムを使いました。あなたは「やめてほしいな」と思いました。あなたはXXに何と言いますか？また、何と言いますか？

1、あなたなら何と言うでしょうか。

あなたの意見は（ とげとげ ・ もしもし ・ ふんわり ）に近い！

＜場面②＞
文化祭に向けて、放課後5時までクラスみんなで練習することになりました。あなたは「5時から聴があるから帰りたい」と思いました。あなたはクラスの人に何と言いますか？また、何と言いますか？

2、とげとげ・もしもし・ふんわり それぞれの立場で、意見を考えましょう。

＜とげとげ＞ ＜もしもし＞ ＜ふんわり＞

3、他の班の発表を聞いて、よいと思った伝え方と、その理由を書きましょう。

（ ）型（タイプ）
（理由）

4、授業の感想をまとめましょう。※今までの自分を振り返りながらこれからどうしていくか書こう

